

会員数(57・12現在)

遠子地区 144名

葉山地区 292名

大船地区 65名

合計 501名

# 碩心会月報

日本詩吟学院岳風会  
神奈川 碩心会

認可  
発行

57・12月

第125号

発行 者 辛 岳  
編 集 愛 岳  
中 岩 村 崎 恵 岳

## 遠い想の出

大船B支部 森

田

嶺

風

当時の私どもの田舎では楽しめ

とてなく、年に二・三回青年達の

やる演芸会等が唯一の楽しみでし

た。昭和六・七年の頃でした。演

芸会で私も何かやろうと思ってい

たところ、先輩に伏木さんとい

人がいて、剣舞を教えるからとい

われ指導を受け、伏木さんの吟で

城山、もう一人の方には前兵児の

謡を吟じてもらい舞はました。村

の旧家の宝刀である真刀を借りて

舞い、大喝采を博した事を記憶し

ております。もう五十年も前の事

になりませんが其の時の吟はたしか

岳風流だったと思えます。其の後

来の消息は不明で前兵児の謡の吟

を習い吟ずる時、当時を思い感無

量です。

其の後私は昭和九年に横須賀海軍

工 廠造船部に入りました。其の頃職

場で詩吟を耳にしました。同じ職

場に吟星会の北野沢岳氏がいられた

誘われ職場で大声で吟じたものでし

た。あの頃、三笠会館で吟の大会等

があり、帰りによく廻きに行きまし

た。その頃造船兵部、又は東京方面が

らも上手な方がきて朗々と吟じてい

られました。

そのうち、私の職場も変り、北野

氏とも別々になり会うこともなく、

吟もできなくなりました。そして大

東亜戦争、私も南方々面に出張、そ

して終戦、田舎に疎開と、あわただ

しい大月がながれました。次いで朝

鮮動乱、再び上横米海軍艦船修理部入所、横  
修吟道部に入会しました。がまもなく退職、そ  
の後頑心会に入会現在に至っております。何  
時かの大会の折、二十年振りに北野氏にお会  
いしました。が、北野氏も終戦後しばらく吟を  
休み最近又始められたとか、あの頃からだと  
四十年になるのだがな。と笑っていられた。工  
廠当時の話に花を咲かせました。私も益々吟  
道に励み、人の和を計り心の一助とした。と  
思います。去りし想い出のひとこまを書かせ  
ていただきます。

### 58年度 初吟会のお知らせ

と き ・ 58年11月16日(日) 10時より  
と ころ ・ 京急ビーチセンター

故・根岸清岳先生を偲んで

一色A支部 守谷宗風

四十五年十二月、最後の稽古をすませて納  
会の俵につき話して終って、こゝでは皆さん、ど

うか身体だけは大切にしてください。そして良  
い年を迎えて下さい。僕も少し腸を悪くして  
いるので養生しているのです。これ私が私達  
への最後の言葉になるうとは神ならぬ身の知  
る由もなく、それから同もなく入院され、  
手当も空しく他界され、教場一周のショック  
は大変なものでした。

思えば吟のイロハから熱心な御指導を頂き  
いつも心につれる様な涙々とした朗詠に胸を  
打たれたものです。先生は特に良寛や杜甫の  
詩を愛されていた様でした。毎年元日には森  
山神社に参拝され一同と奉納吟をされました。  
先年鈴木孝風さんと二人して建長寺内の末寺  
の墓地を尋ね、香を手向け良寛の詩を合吟し  
て御霊に感謝の祈りを捧げて参りました。  
近頃は己に水の如し。今はただ懐かしい  
想い出だけが去来するのみです。

来年の十三回忌にまたお詣りを

一色A支部 鈴木孝風

未だに忘れる事のできない思ひ出、それは

故、根岸清岳先生の事です。穏かな人柄、親切、又何事にも熱心で特に詩吟への熱の入れようは大変でした。今から十六、七年前は詩吟をあまり耳にする事もなく、吟に対しては全く無知な私達を懇切丁寧に御指導下さったのでした。

四十五年六月頃だったと思ひます。第一回目の岳風先生墓参旅行の折の事で、旅館で夕食の時、別人の様に賑やかしたり、又各部屋に戻って一色教場のメンバーで丸座になり雑談に花を咲かせていた所へ先生も中に入られ、皆を笑わせて楽しひひとときを過した時の事がありありと思ひ出されます。その年の暮にはお顔の色もすくぬず、教場での稽古も何やら苦痛の様子でした。侍與の歌を未完成で四十六年一月一五日永遠に帰らぬ人となられました。来年は先生の十三回忌になりますので、守谷泉風さんと又建長寺へ墓参に行き先生の大好きだった良寛の詩を吟じてきたらと思っております。

## 木村岳風先生の墓参と

### 木曾路の旅へのお誘い(富部・千葉香也)

五十四年十月に辰墓吟行会をもちましてから三年以上たち、そろそろ諏訪吟行会を計画してほしむという声もボツボツありますので、来年四月始め頃、木曾路めぐりを兼ねて実施したいと考えております。

その後地蔵寺には先生のお墓の横に、立派な吟鬼神が建立され、六十一名の方が合祀され、わが頑心会からも四名の方が合祀されました。

翌日観光予定の木曾の妻籠、馬籠は皆様御承知の通り昔の宿場街の趣をそっくり残しており、又島崎藤村の生れ故郷でもあり、藤村文学のメッカとして有名な所です。亡き吟聖の墓参と吟道ゆかりの名勝古跡を同好の志と共に訪ねるのは一層楽しい事と存じます。ぜひ御参加下さるよう熱望いたしております。詳細は後目お知らせいたします。

(変) 再入

191 堀口桂山 (新住所) 金沢区六浦町五一三

(電話) 〇四五七七八三 一九〇四三

236 杉本恵山 (新住所) 金沢区平湯町三一丁四〇五

(電話) 〇四五七七八三 四七九九

(入) △△

545 (沼間支部) 石川千代子 逗子市沼間三二五上四

(電) 〇四六八一七三 二七八八

546 ( ) 柴山ゆきえ

(電) 〇四六八一七二 〇七六五

547 ( ) 柴山義男 (右に同じ)

548 (二色支部) 更屋七三夫 横須賀市上町一七

(電) 〇四六八一七三 二八六

549 (二色支部) 行谷喜平 葉山町一色一五〇四

(電) 〇四六八一七五 一八〇四

550 (上原支部) 梶ヶ谷夷 横須賀市秋谷四四五五

(電) 〇四六八一五八 八九八九

551 ( ) 関沢綾子

(電) 〇四六八一五八 八九五三

552 (上原支部) 関沢菊治 横須賀市秋谷四二六四

(電) 〇四六八一五八 八六三八

553 ( ) 関沢ミツ子 (右に同じ)

554 ( ) 関沢美代子 秋谷四三〇二

(電) 〇四六八一五八 一三三〇二

555 ( ) 関沢ミサ子 秋谷四二五〇

(電) 〇四六八一五八 一八二五〇

556 (横警支部) 新倉敏夫 横須賀市長井町三〇

〇四六八一五八 一三〇一一

(退) △△

207 (堀内支部) 池田眞山

一年又過

逗子吟舞連文化祭、葉山地区温習会も無事  
盛会に終り、今年も残り少なくなりました。  
崖敏童作の城東荘に宴す(才四巻、45頁)で  
はないが、一年が過ぎると又春がめぐって  
くる。作者のような心境で生涯を送りたい  
ものです。向寒の折柄、御身自愛下さ  
いまして、よのお年を迎えられますよう。